

編集後記

ゴールデンウィークも過ぎ、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の特集は「老視矯正眼内レンズアップデート」です。近年の眼内レンズの進歩は目を見張るものがあります。白内障手術（水晶体再建術、眼内レンズ挿入術）を受けられたほとんどの方は治療により素晴らしい満足感を得ることが出来、最新医療の素晴らしさを感じるようになります。このように近年の眼内レンズ挿入は視力改善だけではなく、見ることの質をいかに高めるかが重要であると専門外の私は感じています。

一方で、私は斜視、神経眼科を専門に診療を行っておりますが、少なからず手術への不満も聞かれます。おそらく中枢が術後の変化についていけないのではないのでしょうか。

特集ではすべての先生が適応・不適応について述べておられ、不満足例への対処・対応が載っております。これは非常に重要で、私の外来にはもちろん満足例は紹介されませんが、不満足例を拝見しますと、麻痺性を含め斜視がある、小児の頃から不同視があっ

た、術前は大きな不等像視があった等、斜視、神経眼科領域の疾患を既往に持つ方が少なくありません。眼振、弱視の方に多焦点レンズが挿入された症例も経験しました。是非、適・不適応の検査に眼位検査や両眼視検査を入れていただきたいと個人的に希望します。不満足例のなかには多焦点レンズを単焦点レンズに入れ替えると改善することがあります。私自身、これは何故なのか結論が出ません。どなたか是非お教えいただければと存じます。

最後に、私どもの大学では以前からモノビジョンの研究を行っており、眼位、眼球運動、両眼視・立体視、眼優位性の検査には多くの時間を費やします。最新技術の導入は医学の進歩には最も重要ですが、丁寧な検査で適応・不適応を正しく判断されたうえで進めていただければと願っております。

(石川 均・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治
飯島裕幸・坪田一男・富田剛司

「眼 科」 第66巻 第5号 5月号

2024年5月5日発行（毎月1回5日発行）

定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間講読料金

定価 48,950 円（本体 44,500 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 (株)文京メディカル 03 (3817) 8036

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。